

森林公園の整備について

計画的な施設・設備の整備に努める



きな課題となっている。今後の整備の考え方について伺う。

答（知事）森林公園は年間50万人を超える人々が利用するなど、県民生活に欠かせない大切な役割を果たしている。

質問：新型コロナウイルス感染症がまだ収束していない現在、多くの人が運動不足に伴う活動量の低下やストレスの蓄積により、心身への影響が生じている現状にあり、豊かな自然の中で心身ともにリフレッシュできる森林公園の役割が再認識されている。

しかし、森林公園は開園以来かなりの年数が経過し、施設・設備の老朽化が大

また新型コロナウイルス感染症の下において「新しい生活様式」の実践が求められる中、県民が豊かな自然の中で心身ともにリフレッシュできる場を確保することは、「新たな日常」に向けた取組みを進める上でも重要である。より多くの県民に安全・安心・快適に森林公園を利用していたらという、計画的な施設・設備の整備に努めた

道路の交通安全対策について

用水路等への転落事故防止対策を推進

質問：本県の交通死亡事故は、交差点や夜間での発生

割合が高く、また用水路等への転落事故が多発してい

る。

こうした事故の特徴を踏まえて、交通安全施設等の整備効果を評価し、改善を図りながら事業を進めることが重要だ。これまで県が取り組んできた交通安全対策のハード整備について実効果と今後の取り組みについて聞く。

答（知事）即効性の高い対策である「交差点のカラー

舗装化」と「わかりやすい路面標示」について検証を行った結果、事故件数が52%減少している。

また、交差点改良などの抜本的対策については、今後、事故の多い箇所や通学路などを優先的に行うほか園児等が集団で移動する経路への防護柵の設置も進めたい。

道路脇の用水路等への転

学力向上対策について

時代の求める資質・能力の育成に取組む

質問：小学校では今年度、中学校は来年度から新学習指導要領が全面实施となり、「主体的・対話的で深い学び」等にも焦点が当てられている。

一方、本県の児童生徒の学力は以前より低迷しているとの声も聞かれる。これからは新しい時代に対応しながら学力向上を図る必要がある。

今後、学力向上にどう取り組むのか。また、新型コロナウイルス感染症防止対策

で生じた学習面や体力面の課題にどう対応していくのか。

答（教育長）子供たち一人ひとりが激しく変化する社会を前向きに受け止め、主体的に関わり、未来を切り開く資質・能力を確実に身につけることが重要である。

このため、有識者などによる検討委員会を設置し、議論を行っている。

新型コロナウイルス感染症防止対策で生じた課題には、学校行事の重点化などで授業時数の確保に努め、また運動機会の確保にも努めている。

今後とも学力向上に向けた教育活動の一層の充実に努め、これからの時代に求められる資質・能力の育成に積極的に取り組む。

